

## 支援プログラムの様式パターン

作成年月日 2025年3月10日

放課後等デイサービス 菜			
営業時間	9:00~18:00	送迎の有無	有り
法人理念	「福祉」それは何を認識し、何を目指し、何にどのように働きかけるか、その問いに私たちは明確な意志(答え)を持ち、全ての人々が社会の一員として普段の地域生活を安心、安全の中で送ることができる。その一端を担うことを使命とし、責務を果たしていくものである。		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の特性を個性とみなし、潜在する強味、能力を育み、自主性を兼ね備えた自立へと支援していきます。</li> <li>できる、できないの一方的判断で推し量るのではなく、できたらいい、できなくてもいいとの寛容性を組み入れ、一人ひとりの行為、行動の中にある、本質、感性を見出し、育み、将来の糧となるものを適時、適切な対応をもって、その習得を支援していきます。</li> </ul>		

**基本的生活リズム**

〈健康・生活〉  
・健康状態に関する情報を収集し、日々記録  
・基本的生活習慣(睡眠・食事・排泄等)の習得  
・集団生活、個別活動におけるルールへの意識づくり

**活動**

〈認知・行動〉  
・環境変化に対応するスキルを習得できる認知行動療法、グッズの導入  
・偏食、こだわりへの配慮、工夫  
・日々の時間的推移を視覚的、聴覚的に理解

**参加**

〈人間関係・社会性〉  
・集団生活の規模に変化付けることで、人との接し方、関わり方を習得  
・トラブル回避や他者理解ができるような支援

**環境要素**

〈移行支援〉  
・学童クラブや地域児童との交流  
・公共施設の利用  
・交通機関の利用手段を知る

**個人要素**

〈地域支援・連携〉  
・相談支援事業所との連携  
・福祉サービスや社会資源の活用  
・学校や各種関連機関との情報共有

〈職員の質の向上〉  
・サービス改善会議、職員会議等の各種会議の実施  
・資格取得や資質向上への研修参加

〈家族支援〉  
・課題解決への進捗状況を把握し、改善点や問題点への迅速な対応  
・支援向上の為の家庭連携の強化、維持

〈体験・経験(行事等)〉  
・専門職員(臨床心理士)を交えての保護者会  
・施設周辺の清掃活動  
・別事業所との交流会  
・トライするウィーク受け入れ